

コマンドプロンプトの文字を大きくしたい

Q

LANの状態の確認などで、たまにコマンドプロンプトを使います。文字が小さい、表示領域が狭いと感じてしまうのですが、見やすくする方法はないでしょうか。

A

パソコンのネットワークアダプターに割り当てられたIPアドレスを調べる「ipconfig」コマンドや、LAN内にある機器のIPアドレスの一覧取得にも使える「arp」コマンドなど、コマンドプロンプトでしか実行できない機能があります。標準のコマンドプロンプトは黒地にグレーの文字ですが、文字の大きさや色、表示する文字数や行数は変えられます(図1~図5)。

コマンドプロンプトのウィンドウを開いた状態で、ウィンドウの左上にあるアイコンをクリックするか、タイトルバーを右クリックしてメニューを表示します。メニューの「プロパティ」を選ぶと設定画面になります。「フォント」タブの「サイズ」を「10×22」か「12×27」に変更し、「OK」をクリックすると文字が大きくなります。ほかにも「画面の色」タブで文字や背景の色を変更できます。

ウィンドウの大きさは「レイアウト」タブで変えます。「ウィンドウのサイズ」が表示領域です。表示した内容がスクロールしてしまっても戻って見られるようにしたい場合は「画面バッファのサイズ」の「高さ」を多くしておきましょう。

右クリックのメニューで、プロパティではなく「既定値」を選んでも同じ設定画面が現れます。こちらは命令のショートカットを新しく作った場合などに適用される設定です。命令のショートカットは、ショートカットごとに設定を変えられます。ショートカットのアイコンの右クリックメニューから「プロパティ」を選べば設定できます。「既定値」の設定より、個別に変更した設定の方が優先されます。

●プロパティ画面で文字の大きさなどを変更可能

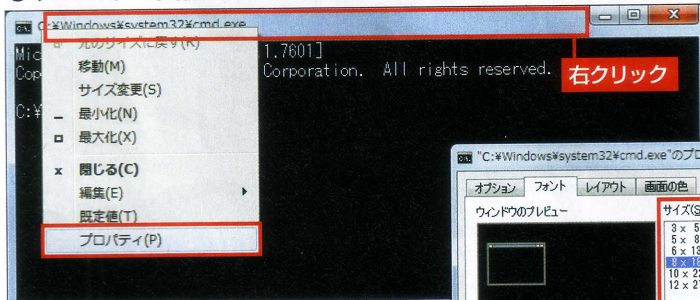


図1 「ファイル名を指定して実行」で「cmd」と入力するとコマンドプロンプトが表示される。メニューバーはないが、ウィンドウ上部を右クリックするとメニューが表示されるので、「プロパティ」を選ぶ

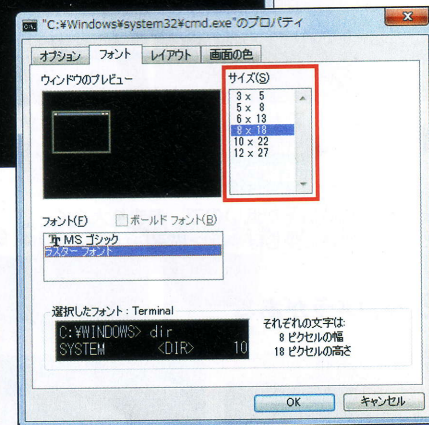
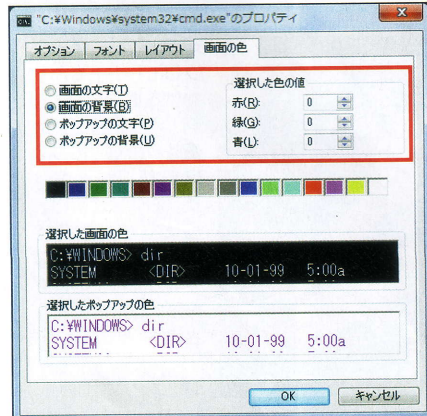


図2 「フォント」タブでは文字の大きさを変えられる。標準の「ラスターフォント」には画面のような選択肢がある。「MSゴシック」は、通常のフォント選択時と同じようにポイントで指定する

図3 「画面の色」タブではウィンドウの背景と文字の色を変更可能だ。ポップアップウィンドウの色も変えられる。ウィンドウの大きさを変えるには「レイアウト」タブの「ウィンドウのサイズ」で幅と高さ指定する

●小さくすると多くの情報が見られる

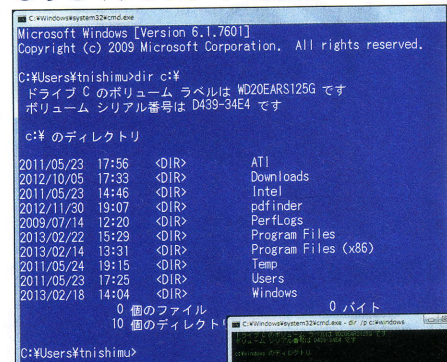


図4 フォントを大きくして背景を青、文字を白くした。ウィンドウは大きいがいざいづん見やすくなる

図5 フォントを小さくして、ウィンドウを縦方向に広げた。同時にたくさんのファイルやフォルダーの情報を表示できる

